

東京すくわくプログラム 8

テーマ 季節を感じる「冬を感じよう」

対象 5歳児

日時 2025年3月7日

「こどもの国」へ遠足に行きました。保育園の最寄り駅尾山台から電車に乗り、2回乗り換えて「こどもの国」に到着。当日は、お天気に恵まれ、広い公園で思いっきり体を動かして、冬の自然を見つけることができました。

子どもの活動

3チームに分かれて電車で、こどもの国まで行きました。まず、牧場へ移動しました。牛と羊をみてから、動物に餌やりと疑似乳しぼりをしました。その後、遊具広場へ歩いていきました。途中、土手に咲いているタンポポやオオイヌノフグリ、ホトケノザを見つけた子どもがいました。

遊具広場で遊んだ後、お弁当を食べにへいせいきねん館まで歩きました。途中、桃色の桃の花がきれいに咲いていました。風が強く吹く中、芝生の広場で、みなでお弁当を食べました。

子どもの様子

こどもの国線に乗ると、空気が一気に寒く感じられました。牧場まで行く道は、両側に広葉樹や竹が生えている道を歩きました。大きな広葉樹は、葉が落ち、枝打ちをしてある木もありました。牧場では、まず、牛舎に入り、牛舎の裏に子牛の柵があり、生まれたばかりの子牛と羊を見ました。牛や羊のにおいを初めてかいだ子どもがいました。「牛のにおいが臭かった。」という声が聞こえてきました。牧場から遊具広場へ歩いていく途中の道で、「あ、タンポポだ」とタンポポや春の草花を見つける子ども達の姿がありました。また、冬の間に枝打ちした小枝の束が道のわきにあり、「キャンプで使う木だ」という声がありました。遊具広場で、遊具で遊ぶ子ども達の姿がありました。その中でも、地面に咲いている春の

草の花をお友達と探す子どもがいました。

昼の時間が近づいたので、芝生広場に移動しました。途中、ピンクの花がついた大きな木があり、近づいてよく見ると桃の花でした。「ひな祭りの時の花だね。」という子どもがいて、ひな祭りの唄や雛飾りにあるので、子ども達は、よく見て知っていました。

振り返り

当日は、天気に恵まれ、遠足に行くことができました。少し遠くの公園へ電車を使い乗り継いでいきました。広大な敷地の大きな木のたくさんある自然の環境がそのまま残っている公園で、冬の自然を見つけて感じる事ができました。空気の冷たさ、早春の強い風を感じ、早春の草花を見つけることができました。子ども達が、「桃の花は、ひな祭りの花だね。」といったことから、保育園で季節の行事を楽しんでいることを忘れずに、覚えていることを再確認できました。なかなか家庭では季節行事をしない家族がいる中で、行事を保育園で取り組んでいることの大切さを感じました。

